

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870201336
法人名	株式会社 シンコー
事業所名	ハートフルケアホーム あけぼの
所在地	今治市室屋町6丁目1-9 (電話)0898-34-5777
自己評価作成日	平成 21 年 9 月 10 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 21 年 9 月 30 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>1. 気持ちよく過ごして頂ける様、毎日ゆったりと入浴して頂き清潔に健康面に配慮し、安全に暮らせるよう配慮している。</p> <p>1.施設内だけで過ごす事なく、気分転換のため、ドライブ・買い物等外出を心がけ日常生活の活性化に努めている。</p> <p>1.「自分や自分の親に来てほしい」と思うホーム(家)に！なるよう心がけています。</p> <p>1.日々振り返り今日の反省をし、明日は同じ失敗をしない。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「ただいま！」の言葉がびっぴりの雰囲気をもったホームである。職員は、利用者一人ひとりが思い思いに自分らしい生活を実現できよう支援に努めている。利用者は開放的で明るく、来訪者に対しても気軽に話しかけることが日常の風景になっている。利用者は、職員に寄り添いゆったりと過ごしていることが感じられるホームである。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ハートフルケアホーム あけぼの

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 越智 美春

評価完了日 21 年 9 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 日ごろから基本理念を大切に、自分や自分の親が入りたいグループホームに、という思いで名札ホルダーにいれ常に携帯し、自身を振り返り日々の実践に繋がるよう取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 人格・人権を尊重する等の理念を名札の裏面に表示し、日常生活の中で実践できるよう努力しているが、どのように地域に密着したサービスにつなげていくかは明確化されていない。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 日中玄関のドアを開放し、気軽に立ち寄って頂いたり、見学して頂けるようにしている。野菜を差し入れて下さったり、近所の独居の高齢者がTELを借りに来られたり、「お年よりも退屈なかる？ 飴でも食べてもろて」と近所の高齢者の方が、お菓子の差し入れをして下さる。</p> <p>(外部評価) 日常的に散歩をする中で近所の住民と顔見知りになり、おしゃべりができる関係ができています。近所に住むひとり暮らしの高齢者が、瓶の蓋を開けてほしいと依頼しにホームを訪れるなど、気軽に来て日常生活の援助を求められるような関係をつくっている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 散歩・近所のスーパー・美容院・美容室を利用し少しずつではあるが、地域の方に発信できている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) ホームの活動・状況報告をし、質問・意見等出して もらいサービス向上へ活かせるようにしている。	
			(外部評価) 定期的に議題を決めて意見交換を行っているが、そこ での意見や提言を、計画的にサービス向上に役立てて いるとまでは言えない。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 市の介護保険課の職員さんに報告・相談し、色々な 意見・情報を頂いている。	
			(外部評価) 職員が自らの職歴の中で培った人脈を活かし、市の担 当者と顔なじみになり、報告や相談ができる関係を築 いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は玄関の戸は開放し、誰でも自由に出入りでき るようにしている。全職員が正しく理解とはいえない が、身体拘束をしないケアへの取り組みはしている。	
			(外部評価) 指定基準において禁止の対象となる具体的な行為はも とより、自分がされたら嫌なことはしないということ を徹底している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会へ参加・学習し、虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者・一部の職員は研修会へ参加し学習しているが、理解できていない職員もいる。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、家族・本人の思い・不安・要望を聞き、理解・納得していただけるよう説明している。解約時も話し合いをし納得していただけるよう説明している。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 電話の際や面会時等、ご家族の希望や意見などお伺いさせて頂いている。職員がきいた時は、施設長に報告している。	
			(外部評価) 来訪時には積極的に声をかけ、家族の意見や要望を聞き取っている。利用者の様子や変化等は頻繁に電話で連絡している。また、毎月手書きの手紙を作成して届けることで、意見や要望を気軽に言える信頼関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) アンケートをとったり、管理者と話し合う機会を設けている。 (外部評価) 管理者は、毎日の引継ぎの時間を大切にして職員の意見や気持ちを聞いている。6か月に1回は職員アンケートを実施し、直接は言いにくいことも伝えてもらえるような工夫もしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員個々の勤務が向上心を持って働ける職場環境に努めている。が・・・不平等だと思っている職員もいる。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修は職員の希望を聞き参加できるようにしている。参加職員からの情報提供・資料配布も行っている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 今年度から相互研修会へ参加し、他施設との交流が図れる機会を作るよう取り組んでいる。 また研修を通じ他施設との情報交換もできている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) ホームを見学して頂き、本人の困り事、不安、要望等聴き、安心して生活できるよう話し合いの機会を持つようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) サービス開始前に困り事・不安・要望を聴くようにしている。開始後は面会時に情報交換している。面会に来られない方」、遠方の家族さんには電話で状況報告し、信頼関係が築いていけるよう努力している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 早く馴染み・安心できるよう、本人・家族のニーズをよく聴き応じられるよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人の思うような生活や力の発揮が出来るよう、さりげなく支援できるよう努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族さんとの外出・外泊等家族さんに協力して頂いている。家族さんと一緒に過ごされた時の様子等帰設時に聴くようにしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔から馴染みの美容室へ行ったり、自宅前を通るドライブをしたり、家族と墓参りに出かける、馴染みの人に来てもらったりしている。 (外部評価) 散歩の途中で馴染みの散髪屋で散髪をしてもらったり、自宅付近で知人に声をかけてもらったり、墓参りにも出かけている。また、近所の知り合いに利用者自身が電話をかけておしゃべりができるような手助けもしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 席の配置、共同して出来る作業等、声かけしながら関わり合いを大切に支え合えるような支援に努めている	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院された時はお見舞いに行ったり関係性を大切にしている。家族さんが野菜を持ってきて下さる事もある。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 面会時のご家族との会話や、毎日の関わりの中で、本人の思いや暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 気づきを記録に残し、全員が共有できるようにしている。センター方式c-1-2シートを活用している。	
			(外部評価) 契約時に、家族や利用者、ケアマネジャーなど関係者からの情報を丁寧に聞き取り、記録している。行動チェック表から読み取ることは勿論、日々の生活や会話を通して思いや意向の把握に努め、職員各々が記録することで、全ての職員が共有できるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族・面会に来られた方々からの情報をもとに、これまでの生活歴・馴染みを大切にされた暮らし方の把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の暮らしの中から、現状の把握に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 職員全員が個々のモニタリングし意見を出し合い、本人・家族と話しあって介護計画を作成している。	
			(外部評価) チェック表や、介護計画の重点項目を意識して記録した日誌を確認しながら、毎月支援経過票を作成している。3か月毎にモニタリングを行い、全職員が利用者一人ひとりの計画案を作成している。それを統合して組み込むことで、現状に適した介護計画が立案されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日誌・支援経過の記録・申し送り等にて介護計画の見直し・ケアの実践・見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 本人・家族の状況に応じて、外出・通院の付き添い地域の行事等柔軟な支援に取り組んでいる。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 近所のスーパーでの買い物・散髪・美容室、運動会等に出かけたり、毎月フラダンスのボランティアさんが来設して下さり楽しまれている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 本人・家族の希望を大切にしている。定期受診や体 調不良時等にホームの協力医療機関で適切な医療を速 やかに受けられるよう支援している。</p> <p>(外部評価) 利用者それぞれのかかりつけ医への受診は基本的に家 族が同行することになっているが、その際は利用者の ホームでの様子を伝えたり受診結果を報告してもら うなどして情報を共有し、適切な医療を受けられるよ う支援している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 看護職員はいないが、かかりつけ医に相談・受診を 行っている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 家族・医療機関と情報交換や相談をし、安心して治 療できるようにしている。早期退院できるよう、家 族・医療機関と連携をとっている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 契約時に家族に説明している。心身の状況に変化が あった時は、早い時期から利用者・家族と話し合い事 業所として出来る所まで対応している。</p> <p>(外部評価) 基本的に重度化や終末期を迎えた方はホームでの生活 の対象としていないことを契約書や重要事項説明書に 明記し、十分な説明をしている。状況の変化等がある 場合は必要に応じて話し合いを重ね「できること、で きないこと」の確認を行い、利用者本位に住み替え先 を確保できるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的に行っていない。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は行っているが、地域との協力体制は築けていない。 (外部評価) 年2回の避難訓練を実施しているが、地域や消防団を巻き込んだ訓練はまだ行えていない。	災害時対策として、消防署の専門的な指導を依頼すると共に、地域の消防団や住民と連携した訓練の実施を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 自尊心を傷つけないよう、やさしい言葉かけや対応に努めている (外部評価) 理念に明記している通り、日常生活において利用者の自尊心を損うことのないよう、常に細心の注意を払っている。また、記録等の個人情報の取り扱いにも留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 今までしてきたように、出来る限り思いや希望に沿うよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人一人のペースを大切に、出来る限り希望に沿った支援をしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 「散髪に行きたい」と言われ、近所の気に入った散髪屋さんへ行っている方もおられる。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) パートナーも同テーブルで一緒に話しながら食事している。下ごしらえ、食卓拭き、片付け等できる事は一緒に行っている。	
			(外部評価) 材料の調達から下準備、配膳など、利用者のできることを一緒にゆとりをもって行えるよう、調理専門の職員を配置している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量（食事にかかった時間）、水分量を個別記録・把握し支援している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアの支援は出来ている。1回/週は入れ歯洗浄を行っている。状態に応じて歯科受診も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人一人の排泄パターンを把握し、表情や言葉から感じ取り、トイレでの排泄を行っている。プライバシーの配慮等一日気持ちよく過ごせるよう支援している。	
			(外部評価) ちょっとした仕草から尿意を察して介助したり、チェック表でパターンをつかんでさりげなく誘導するなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎日のリハビリ運動や散歩、繊維の多い食事、水分量等に気をつけ便秘解消に取り組んでいるが、服薬が必要な方もいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴時間は午後からとなっているが、一人一人タイミングに合わせて十分な時間をとり、一人で介助出来ない入居者さんには2人介助で浴槽に入ってもらっている。入浴中も話をしたりと入居者さんには入浴を楽しんでもらっている。入浴は毎日行っている。	
			(外部評価) 午後を入浴の時間とし、毎日全員が入浴を楽しんでいる。入浴時は利用者と一対一でゆっくりと話ができる大切な時間となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中一人一人ソファ・畳の間・でくつろいだり、自室で休まれたりとその時々、気持ちよく休んで頂けるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋をファイルにつけ職員が把握できるようにしている。変更・追加時は申し送りノートで把握するようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人一人の生活歴を本人・家族から聴き、それぞれが発揮できる場面作りをし、楽しみや張り合いがもてるように支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ドライブ・買い物・外食・喫茶店・散髪等個々の希望で外出支援を行っている。また、家族さんと、外食・自宅・散髪・お墓参り等に出かけられている。	
			(外部評価) 近所の散歩、食材の買い物、ちょっとしたドライブ等を日常的に楽しんでおり、喫茶店やレストランに外食に出かけることもある。玄関先のベンチに腰掛けて外気浴をしながら近所を通る方と会話を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族さんと相談し、本人に渡し買い物に行って頂く時もある。職員同行時も財布を渡し、支払ってもらったりもする。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は希望時かけてもらっている。手紙は、家族・姉妹から届いた時、一言でも自筆してもらい直近の写真も送付している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関・リビングには季節の花を飾り、照明は日照の光を大事にしている。窓の開閉にも気をつけ、外気も入れるようにしている。	
			(外部評価) リビングは十分な広さがあり、テーブル、ソファと独立したコーナーを作り、思い思いに過ごせる場を確保している。玄関先や玄関フロアにはベンチを配し、利用者だけでなく近所の方も休憩してもらえるように配慮しており、開放的な雰囲気がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングの畳、ソファ、エレベーター前の椅子、玄関のベンチで思い思いに過ごされている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時に「使い慣れた物を」とお願いしている。TV・位牌・畳等持ってこられ、本人、家族さんが心地よく過ごせるよう工夫されている。	
			(外部評価) テレビ、小たんす、ソファ、位牌など思い思いの馴染みの品を持ち込んでいる。写真や花、手作りの品などが飾られ、利用者の思いが伝わってくる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 居室入り口の名札・写真、トイレの表示、通路に物を置かないよう安心・安全に暮らせるように努めている。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870201336
法人名	株式会社 シンコー
事業所名	ハートフルケアホーム あけぼの
所在地	今治市室屋町6丁目1-9
自己評価作成日	平成 21 年 9 月 10 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 21 年 9 月 30 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>1. 毎日入浴され、清潔・感染予防、健康面に配慮し、安全に暮らせるよう支援している。</p> <p>1.施設内で過ごすことなく、散歩・買い物・ドライブ等で気分転換し毎日笑顔で過ごせるよう心がけています。</p> <p>1.今出来る事が継続して出来るように、本人の「したい、出来る」という思いが出せるような関わりにも努めています。</p> <p>1.理念を大切に、「自分や自分の親に来てほしいと思うホーム(家)に！」なるよう心がけています。</p> <p>1.日々振り返り今日の反省をし、明日は同じ失敗をしない。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「ただいま！」の言葉がびっぴりの雰囲気をもったホームである。職員は、利用者一人ひとりが思い思いに自分らしい生活を実現できよう支援に努めている。利用者は開放的で明るく、来訪者に対しても気軽に話しかけることが日常の風景になっている。利用者は、職員に寄り添いゆったりと過ごしていることが感じられるホームである。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ハートフルケアホーム あけぼの

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)
氏名 越智 美春

評価完了日 21 年 9 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念を共有し同じ方向へ進んでいけるよう、実践につなげている。	
			(外部評価) 人格・人権を尊重する等の理念を名札の裏面に表示し、日常生活の中で実践できるよう努力しているが、どのように地域に密着したサービスにつなげていくかは明確化されていない。	掲げた理念を踏まえながら職員全員で話し合いを重ね、地域の中でその人らしく生活していくことができるよう、具体的な目標となる理念をつくり実践していくことが望まれる。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 近所に買い物に行った時、病院受診の待合室、散歩時等、入居者を交えて地域の方々と話し、地域とのつながりが出来るよう交流している。	
			(外部評価) 日常的に散歩をする中で近所の住民と顔見知りになり、おしゃべりができる関係ができています。近所に住むひとり暮らしの高齢者が、瓶の蓋を開けてほしいと依頼しにホームを訪れるなど、気軽に来て日常生活の援助を求められるような関係をつくっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 一人で外出していると電話をくれたり、施設に言いに来て下さる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) ホームの活動・状況報告をし、質問・意見等出して もらっている。家族さんの思い・地域の方の意見等、 申し送り等で職員全体が把握し、サービス向上に活か している。	
			(外部評価) 定期的に議題を決めて意見交換を行っているが、そこ での意見や提言を、計画的にサービス向上に役立てて いるとまでは言えない。	運営推進会議を今まで以上に意義のあるものとするた めにも、公民館や地域の消防団、学校の代表のような 地域のキーパーソンをメンバーに加え、様々な立場の 方から意見をいただくとともに、地域の理解と協力を 得ながらサービス向上につなげていくことが求められ る。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 市の介護保険課の職員さんに報告・相談し、色々な 意見・情報を頂いている。	
			(外部評価) 職員が自らの職歴の中で培った人脈を活かし、市の担 当者と顔なじみになり、報告や相談ができる関係を築 いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) “玄関の施錠はせず、自由に入出りできるようにして いる。”全職員が正しく理解”とはいえないが、身体 拘束をしないケアへの取り組みはしている。	
			(外部評価) 指定基準において禁止の対象となる具体的な行為はも とより、自分がされたら嫌なことはしないということ を徹底している。	職員全員で勉強会を実施して具体的な事例について検 討し、共通認識をもって日々の実践に活かしていくこ とを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会へ参加し学んでいる。日頃の対応や声かけ等が虐待になる事を学び、注意し虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者・一部の職員は研修会へ参加しているが、理解できていない職員もいる。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、家族・本人の思い不安・要望を聞き、理解・納得して頂けるよう説明している。 解約時も話し合いをし、納得して頂ける様説明している。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者・家族からの意見、要望は直ちに全職員が把握し、サービスに活かしている。	
			(外部評価) 来訪時には積極的に声をかけ、家族の意見や要望を聞き取っている。利用者の様子や変化等は頻繁に電話で連絡している。また、毎月手書きの手紙を作成して届けることで、意見や要望を気軽に言える信頼関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 半年/1回アンケートをとり面接の時間を設けている。申し送りや日々の業務の中でも意見や提案を聞き、検討し運営に反映している。</p> <p>(外部評価) 管理者は、毎日の引継ぎの時間を大切にして職員の意見や気持ちを聞いている。6か月に1回は職員アンケートを実施し、直接は言いにくいことも伝えてもらえるような工夫もしている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 職員個々の勤務が向上心を持って働ける職場環境に努めている。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 外部研修は職員の希望を聞き参加できるようにしている。参加職員からの情報提供・資料配布も行っている。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 今年度から相互研修会に参加し、他施設との交流が図れる機会を作るよう取り組んでいる。また研修を通じ他施設と交流する機会を得ている。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) ホームを見学して頂き、本人の困り事・不安・要望等聴き、安心して生活できるよう話し合いの機会を持つようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) サービス開始前に困り事・不安・要望「安心して大切な家族を任せられる」と思って頂けるよう関係作りに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 早く馴染み・安心できるよう、本人・家族のニーズをよく聴き、応じられるよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 個々の尊厳を大切にし、「自分だったら」と相手の気持ちを理解できるよう共に過ごしている。また、長年生きてこられた生活の千恵・知識を教えて頂く事も多々ある。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族さんとの外出・外泊等家族さんに協力して頂いている。家族さんと一緒に過ごされた時の様子等帰設時に聴くようにしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔から馴染みの喫茶店に行ったり、遠方の親族との電話や文通等、関係継続の支援に努めている。 (外部評価) 散歩の途中で馴染みの散髪屋で散髪をしてもらったり、自宅付近で知人に声をかけてもらったり、墓参りにも出かけている。また、近所の知り合いに利用者自身が電話をかけておしゃべりができるような手助けもしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) フロアでは利用者さん同士が話しながら一緒に作業したり、和やかに談話されている。性格の相違や相性もあるので時にはトラブルもあるが、職員が間に入り孤立されないような関係作りに努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院された時はお見舞いに行ったり関係性を大切にしている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 面会時のご家族との会話、毎日の暮らしの会話の中から本人の思い、希望の把握に努めている。 気づきを記録し、全員が共有できるようにしている。また、センター-方式C-1-2シートを（2回/1年）活用している。 (外部評価) 契約時に、家族や利用者、ケアマネジャーなど関係者からの情報を丁寧に聞き取り、記録している。行動チェック表から読み取ることは勿論、日々の生活や会話を通して思いや意向の把握に努め、職員各々が記録することで、全ての職員が共有できるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族・面会に来られた方々・他事業所からの情報をもとにこれまでの生活歴や馴染みを大切にされた暮らしの把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の暮らしの中から把握現状の把握に努めている。が・・・予測の立たない行動（落ち着きがない、興奮等）をした場合、支援する事が精一杯の時がある。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 本人・家族と話し合いをし、職員一人一人がモニタリングして話し合い、介護計画を作成している。	
			(外部評価) チェック表や、介護計画の重点項目を意識して記録した日誌を確認しながら、毎月支援経過票を作成している。3か月毎にモニタリングを行い、全職員が利用者一人ひとりの計画案を作成している。それを統合して組み込むことで、現状に適した介護計画が立案されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の記録・申し送りノート・申し送りで情報を共有し、介護計画の見直し、ケアの実践にいかしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 本人・家族の状況に応じて、外出・通院の付き添い・地域の行事等柔軟な支援に取り組んでいる。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 近所のスーパーでの買い物・美容室・散髪等に出かけたり、毎月 フラダンスのボランティアさんが来設して下さり楽しまれている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 本人・家族の希望を大切にしている。定期受診や体 調不良時等にホームの協力医療機関で適切な医療をう けられるよう支援している。</p> <p>(外部評価) 利用者それぞれのかかりつけ医への受診は基本的に家 族が同行することになっているが、その際は利用者の ホームでの様子を伝えたり受診結果を報告してもら うなどして情報を共有し、適切な医療を受けられるよ う支援している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 看護職員はいないが、かかりつけ医に相談し、受診 を行っている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 家族・医療機関と情報交換や相談をし、安心して治 療できるようにしている。早期退院ができるよう家族・ 医療機関と連携をとっている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 契約時に家族に説明している。心身の状況に変化が あった時は、早い時期から利用者・家族と話し合い、 事業所として出来る所まで対応している。</p> <p>(外部評価) 基本的に重度化や終末期を迎えた方はホームでの生活 の対象としていないことを契約書や重要事項説明書に 明記し、十分な説明をしている。状況の変化等がある 場合は必要に応じて話し合いを重ね「できること、で きないこと」の確認を行い、利用者本位に住み替え先 を確保できるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的には行っていない。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は行っているが地域との協力体制は築けていない。 (外部評価) 年2回の避難訓練を実施しているが、地域や消防団を巻き込んだ訓練はまだ行っていない。	災害時対策として、消防署の専門的な指導を依頼すると共に、地域の消防団や住民と連携した訓練の実施を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊厳を大切にしやすい声かけや対応に努めている。 (外部評価) 理念に明記している通り、日常生活において利用者の自尊心を損うことのないよう、常に細心の注意を払っている。また、記録等の個人情報の取り扱いにも留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常のかかわりから思いや希望を把握し支援している。言葉にだしにくい利用者さんは表情や行動で表出しやすいように日々の係わりを大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人一人のペースを大切に、出来る限り希望に沿った支援をしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 家族さんと一緒に美容室にでかけたり、その日の服を自身で選んだり、お化粧をしたりおしゃれを楽しんでいる。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) パートナーも同テーブルで話しながら一緒に食事している。食卓拭き・野菜のしたごしらえ・盛り付け・配膳・片付け等一緒に行っている。	
			(外部評価) 材料の調達から下準備、配膳など、利用者のできることを一緒にゆとりをもって行えるよう、調理専門の職員を配置している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 本人の希望により食事の増減をしている。水分量は個別にチェックし摂取量が少ない人は、1500cc/1日を目安に摂取できるよう支援している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 見守り・一部介助・全介助、その人の力に応じた口腔ケアを毎食後している。1回/週ポリデントを行っている。状態に応じて歯科受診も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表をつけ一人一人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を行い自立に向けた支援を行っている。	
			(外部評価) ちょっとした仕草から尿意を察して介助したり、チェック表でパターンをつかんでさりげなく誘導するなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎日のリハビリ運動・散歩・腹部マッサージ・繊維の多い食事・水分量等に気をつけ便秘解消に取り組んでいるが、服薬が必要な方もいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴時間は午後からとなっているが、一人一人タイミングに合わせてゆっくり入浴してもらっている。入浴は毎日行っている。	
			(外部評価) 午後を入浴の時間とし、毎日全員が入浴を楽しんでいる。入浴時は利用者と一対一でゆっくりと話ができる大切な時間となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 居室・ソファ・エレベーター前の椅子・ご主人や奥様の部屋にて、それぞれが思い思いの場所で休息や安心して気持ちよく休んで頂けるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を一人一人ファイルにつけ、変更があれば申し送りや申し送りノートで把握するようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人一人の生活歴を本人・家族から聴き、それぞれの力を発揮できる作業をしてもらっており、自ら進んで手伝って下さる事が多い。買い物・ドライブ・飲酒等楽しみ事、気分転換等の支援をしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ドライブ・買い物・外食・喫茶店・散髪・小旅行等個々の希望で外出支援を行っている。また家族さんとの外出等出かけられるよう支援している。	
			(外部評価) 近所の散歩、食材の買い物、ちょっとしたドライブ等を日常的に楽しんでおり、喫茶店やレストランに外食に出かけることもある。玄関先のベンチに腰掛けて外気浴をしながら近所を通る方と会話を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族さんと相談し本人希望があれば小額を手元に持っている利用者さんもいる。希望に応じ預かり金を本人に渡し近所のスーパーへの買い物・近所の美容室へ行かれている入居者さんもいる。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人希望時電話かけてもらっている。遠方の子供さんや姉妹から手紙が届いた時は手紙を書いてもらい、直近の写真も送付している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関・リビングには季節の花を飾り照明は日照の光を大事にしている。窓の開閉にも気をつけ外気もいれるようにし居心地よく過ごせる工夫をしている。	
			(外部評価) リビングは十分な広さがあり、テーブル、ソファと独立したコーナーを作り、思い思いに過ごせる場を確保している。玄関先や玄関フロアにはベンチを配し、利用者だけでなく近所の方も休憩してもらえるように配慮しており、開放的な雰囲気がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにはソファ・エレベータ前の椅子・玄関にはベンチを置き、一人になれたり、利用者同士で思い思いに過ごせる場所の工夫をしている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時に「使い慣れたものを」とお願いしている。TV・コタツ・ぬいぐるみ・花をいっぱい飾ったり・セップレイヤー・ラジオ等好みの物を持って来られ本人・家族さんが心地よく過ごせるよう工夫されている。	
			(外部評価) テレビ、小たんす、ソファ、位牌など思い思いの馴染みの品を持ち込んでいる。写真や花、手作りの品などが飾られ、利用者の思いが伝わってくる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 居室入り口の名札・写真、トイレの表示等、安心・安全に生活が送れるよう工夫している。	